

〔校訓〕 一生懸命 (すべての活動の中に流れている理念)

学校教育目標 志を持ち 道を拓く生徒

目指す生徒像 知を磨く生徒 心を耕す生徒 体を鍛える生徒 故郷を愛する生徒



総合的な学習
◆探究的な学習と課題解決
◆キャリア教育の推進
◆地域人材の活用

教科指導
◆確かな学力、学びあう集団の育成
◆主体的・対話的で深い学びの実現
◆自分の考えを表現できる生徒
◆ICTの積極的活用 ◆家庭学習の充実

特別な教科 道徳
◆考え議論する道徳
◆心に残る評価方法の工夫
◆小笠原流礼法など地域教材の活用

令和4年度指導重点
○「新しい時代に必要となる資質、能力」をはぐくむ教育課程の編成
○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた確かな学力の育成
○様々な体験活動を通した豊かな心の育成
○実践活動から鍛える、健やかな体の育成
○地域や世界で活躍できる人材の育成
○途切れのない特別支援教育の充実
○教育全体の土台となる学級経営の充実

特別活動
◆望ましい集団づくり
◆主体性・協調性の育成
◆豊かな体験活動
◆意欲を持たせる取り組み

生徒指導・支援
◆生徒理解に基づく指導
◆自己指導力の伸長
◆家庭・地域と連携
◆いじめの未然防止と早期対応

進路指導
◆個性の尊重
◆将来への夢や関心を育む
◆教育活動全体で関連付け

開かれた学校 家庭・地域との連携
◆学校評価の充実
◆情報の発信
◆地域と学校が双方向で協力

特色ある学校づくり
◆「紅タイム」の推進
◆合唱など文化活動の推進
◆挨拶の励行
◆部活動の推進

健康・安全指導
◆安全意識と知識の徹底
◆命と心の尊重
◆自ら考える健康・安全・防災

学級経営の充実 ◆土台となる集団作り ◆一人一人の良さや可能性を生かす

指導重点と具体的な取り組み